

CBS220のSNMPビューの設定

目的

この記事では、Cisco Business 220シリーズスイッチでSimple Network Management Protocol(SNMP)ビューを設定する方法について説明します。

概要

SNMPは、IPネットワーク上のデバイスの管理に使用されるインターネット標準プロトコルです。SNMPメッセージは、管理対象オブジェクトに関する情報の検査と通信に使用されます。SNMPは、管理情報ベース(MIB)を使用して、オブジェクト識別子(OID)を含む階層またはツリー構造のネームスペースに使用可能なオブジェクトを保存します。OIDは、SNMPを介して読み取りまたは設定できるMIB階層内の情報を識別します。

SNMPビューは、MIBオブジェクトのサブセットで、MIBオブジェクト情報に対するSNMPユーザの書き込み、読み取り、および通知権限を制御するためにSNMPアクセスグループに割り当てることができます。ビューは、MIBサブツリーのコレクションに対するユーザ定義のラベルです。各サブツリーIDは、関連するサブツリーのルートによって定義されます。既知の名前を使用して目的のサブツリーのルートを指定するか、OIDを入力できます。

該当するデバイス | ソフトウェアバージョン

- CBS220シリーズ ([データシート](#)) | 2.0.1.5 ([最新版をダウンロード](#))

スイッチでのSNMPビューの設定

SNMPビューの追加

手順 1

スイッチのWebユーザインターフェイス(UI)にログインします。



Switch

admin

1

●●●●●●●●

2

English

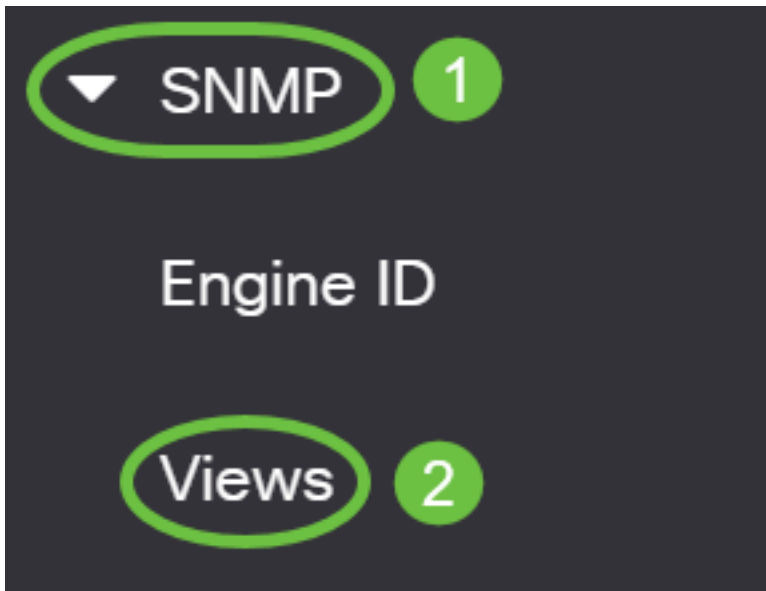


Log In

3

手順 2

SNMP > Viewsの順に選択します。



「表を表示」(View Table)には、次の情報が表示されます。

Views

View Table



Filter: View Name equals to

Go

Clear Filter

View Name Object ID Subtree Object ID Subtree View

- [ビュー名] : ビューの名前。
- [Object ID Subtree]:SNMPビューに含める、またはSNMPビューから除外するサブツリー。
- [Object ID Subtree View] : 選択したSNMPビューに定義されたサブツリーを含めるか、除外するかを表示します。

手順 3

[Add]ボタンをクリックして、新しいビューを定義します。

Views

View Table



手順 4

[View Name]フィールドに新しいSNMPビューの名前を入力します。このフィールドの文字数の上限は32です。

Add View

View Name: (4/32 characters used)

手順 5

[Object ID Subtree] 領域で、MIBツリー内のノードを選択する方法を定義する次のいずれかのラジオボタンをクリックします。このラジオボタンは、新しいSNMPビューに含まれるか、または除外されます。

次のオプションがあります。

- [Select from list] : 使用可能なリストからMIBツリーのノードを選択できます。
- [ユーザ定義(User Defined)] : ユーザは、[選択元(Select From)]リストで使用できないオブジェクトIDを入力できます。このオプションを選択した場合は、[User Defined]フィールドにOIDを入力し、ステップ9に進みます。

Add View

View Name: (4/32 characters used)

Object ID Subtree: Select from list User Defined

- icmp
- tcp
- udp
- transmission
- snmp
- ...

この例では、[Select from list]が選択されています。

手順 6

(オプション) リストを下にスクロールし、リストからOIDサブツリーを選択します。

Add View

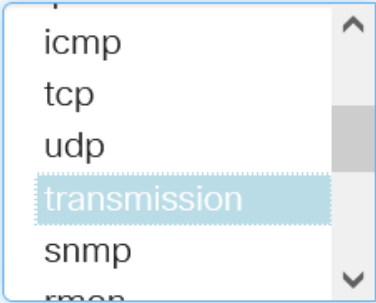
View Name: (4/32 characters used)

ステップ7

(オプション) 上矢印を使用して選択したノードの親と兄弟のレベルに移動し、下矢印をクリックして選択したノードの子のレベルに下がります。

Add View

View Name: (4/32 characters used)

Object ID Subtree: Select from list  User Defined

手順 8

(オプション) リストから子を選択します。ステップ7で[Up]ボタンを選択した場合は、代わりに親を選択します。

Add View

View Name: (4/32 characters used)

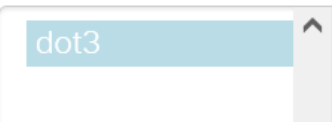
Object ID Subtree: Select from list  User Defined

手順 9

[ビューに含める]チェックボックスをオンまたはオフにします。このチェックボックスをオンにすると、選択したMIBがビューに含まれ、それ以外の場合は除外されます。

Add View

View Name: (4/32 characters used)

Object ID Subtree: Select from list  User Defined 1.3.6

手順 10

[適用]をクリックし、[閉じる]をクリックします。

Add View

View Name: (4/32 characters used)

Object ID Subtree: Select from list

User Defined

1.3.


Include in View


Apply

Close

手順 11

(オプション) [保存]をクリックして、スタートアップコンフィギュレーションファイルに設定を保存します。

 CBS220-8P-E-2G-Switch304770

 admin(Switch...)

これで、スイッチのビューテーブルに新しいSNMPビューが正常に追加されました。

SNMPビューの削除

手順 1

ビューテーブルで、削除するビューのチェックボックスをオンにします。

View Table



Filter: View Name equals to

Go

Clear Filter

<input type="checkbox"/>	View Name	Object ID Subtree	Object ID Subtree View
--------------------------	-----------	-------------------	------------------------

<input type="checkbox"/>	all	.1	Included
--------------------------	-----	----	----------

手順 2

[Delete] をクリックします。

View Table



Filter: View Name equals to

Go

Clear Filter

View Name Object ID Subtree Object ID Subtree View

all .1 Included

demo .1.3.6.1.6.3.13 Excluded

手順 3

(オプション) [保存] をクリックして、スタートアップコンフィギュレーションファイルに設定を保存します。



CBS220-8P-E-2G-Switch304770



admin(Switch...)

これで、Cisco Business 220シリーズスイッチのビューテーブルからSNMPビューが正常に削除されました。

結論

これで完了です。これで、CBS220シリーズスイッチでSNMPビューを追加または削除する手順が学習されました。